

## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社 ロブテックス  
 コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山口 正光  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 072-980-1110

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	4,087	5.2	146	41.4	111	48.6	47	58.2
2019年3月期第3四半期	4,313	2.8	249	36.7	216	38.3	113	46.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 50百万円 ( 53.8%) 2019年3月期第3四半期 108百万円 ( 65.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	50.83	
2019年3月期第3四半期	121.51	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	7,901	4,176	50.4
2019年3月期	8,109	4,206	49.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 3,985百万円 2019年3月期 4,014百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		70.00	70.00
2020年3月期		0.00		70.00	70.00
2020年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,720	6.2	240	45.4	190	52.2	100	59.2	107.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	1,000,000 株	2019年3月期	1,000,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	66,075 株	2019年3月期	66,075 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	933,925 株	2019年3月期3Q	933,943 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善などにより設備投資や個人消費が底堅く推移し、緩やかな回復基調が継続しておりますものの、米中貿易摩擦、英国のEU離脱問題、日韓関係の悪化などの懸念材料もあり、景気の先行きについては依然として不透明な状況で推移しました。

こうした経済環境の下、当社グループは全社員を一丸とする企業文化“コーポレートカルチャー”を醸成し、創立100周年(2023年度)にあるべき姿を目指すため、経営ビジョンを「モノづくりのプロにゆえ モノづくりの愉しさを育む」、経営スローガンを「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応えるとともに、つくる愉しさを伝え広げる事で社会に貢献します」と定め、その浸透と発信を図り、経営目標達成に向けて努力してまいりました。また、2019年4月にコーポレートカルチャーの醸成促進とより機能的な組織体制とすべく、組織改革を実施し、社長室をコーポレートカルチャー醸成に特化させ、営業部に営業企画・推進部門を統合させるとともに、取引先別販売チャンネル展開を加速すべくeビジネス推進部門を新設しました。また、顧客満足の充実に資するため、カスタマーサービス部門を独立させました。そして、将来を見据え、金属製品事業では生産設備の拡充並びに人的な投資・充実に、レジャー事業ではサービス向上に向けた設備投資を計画的に進めてまいりました。

このように経営目標達成への取組みに注力しましたが、売上高は前年同期比5.2%減の40億8千7百万円(前年同期43億1千3百万円)となり、利益面では減収影響に人件費増も加わり、営業利益で同41.4%減の1億4千6百万円(同2億4千9百万円)、経常利益で同48.6%減の1億1千1百万円(同2億1千6百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益で同58.2%減の4千7百万円(同1億1千3百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①金属製品事業

国内売上は前年同期に比べ減少しました。ハンドツール部門ではレンチ類において本締めに迫るプロ仕様を謳った「ハイブリッドモンキレンチX W-ZERO」や軸の強いソケット「ストロック」などの新商品投入による増加がありましたものの、OEM製品の低調などにより減少し、ファスニング部門では工業用ファスナーにおいて新規案件の獲得などがありました。継続案件の工法変更による注文減や工期遅延影響を補えず減少しました。切削工具部門については拡販努力を行いましたが、継続的な価格競争影響により減少しました。

海外売上についても前年同期に比べ減少しており、ハンドツール部門では主力販売国である韓国の経済環境や流通在庫増加影響により、レンチ類・電設工具などが大幅に減少しました。ファスニング部門においてはエアリーベッター等のファスニングツールが米国における流通在庫増加影響により減少したものの、韓国・大洋州向けの拡販が奏効し増加しました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比5.5%減の39億1千6百万円(前年同期41億4千4百万円)となりました。利益面ではセグメント利益が減収や人件費増により、前年同期比60.1%減の7千3百万円(同1億8千3百万円)となりました。

#### ②レジャー事業

ゴルフ練習場におけるお客様一人当たり売上高は高気温などの天候影響と思われる滞在時間の減少やキャンペーン企画実施により低下しましたものの、入場者数はサービス向上や集客施策により前年同期に比べ増加し、売上高は前年同期比0.8%増の1億7千万円(前年同期1億6千9百万円)となりました。セグメント利益は前年同期に実施した設備修繕等の費用が無くなり、同10.3%増の7千3百万円(同6千6百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は79億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億7百万円減少しました。

#### (資産)

流動資産は前連結会計年度末比2億6千7百万円減の49億4千4百万円となりました。これは主にたな卸資産の増加がありましたものの、現金及び預金や受取手形及び掛金、電子記録債権が減少したことによるものです。

固定資産は同5千9百万円増の29億5千7百万円となりました。これは主に投資有価証券の時価評価に伴う減少や減価償却による既存の有形固定資産の減少がありましたが、工場棟新築を中心とした設備計画進捗による新たな有形固定資産の増加によるものです。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末比6千2百万円減の24億1千7百万円となりました。これは主に短期借入金の増加がありましたものの、未払法人税等やリース債務が減少したことによるものです。

固定負債は同1億1千5百万円減の13億7百万円となりました。これは長期借入金及び社債の減少を主因としたものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末比2千9百万円減の41億7千6百万円となりました。これは主に配当支出による利益剰余金及び投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2020年2月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,073,590	2,025,284
受取手形及び売掛金	1,342,612	866,145
電子記録債権	189,004	155,060
商品及び製品	1,028,149	1,233,029
仕掛品	299,305	327,383
原材料及び貯蔵品	214,101	232,099
その他	70,329	109,814
貸倒引当金	△5,646	△4,598
流動資産合計	5,211,447	4,944,218
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	743,424	961,798
土地	738,508	738,508
その他(純額)	646,970	493,746
有形固定資産合計	2,128,903	2,194,052
無形固定資産	36,572	56,537
投資その他の資産	732,726	706,888
固定資産合計	2,898,202	2,957,478
資産合計	8,109,650	7,901,697

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	229,553	239,211
短期借入金	1,599,188	1,651,650
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	38,390	4,148
その他	553,168	462,402
流動負債合計	2,480,299	2,417,412
固定負債		
社債	150,000	120,000
長期借入金	1,005,686	905,397
退職給付に係る負債	65,047	69,387
その他	202,584	212,620
固定負債合計	1,423,318	1,307,405
負債合計	3,903,618	3,724,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	2,504,848	2,486,949
自己株式	△164,014	△164,014
株主資本合計	3,791,879	3,773,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,313	212,016
その他の包括利益累計額合計	222,313	212,016
非支配株主持分	191,838	190,882
純資産合計	4,206,031	4,176,879
負債純資産合計	8,109,650	7,901,697

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	4,313,799	4,087,618
売上原価	2,747,948	2,620,201
売上総利益	1,565,850	1,467,417
販売費及び一般管理費	1,315,924	1,321,069
営業利益	249,926	146,347
営業外収益		
受取配当金	14,193	15,835
受取家賃	7,049	6,914
その他	8,855	5,083
営業外収益合計	30,098	27,833
営業外費用		
支払利息	25,659	23,445
売上割引	35,970	34,389
その他	1,709	5,071
営業外費用合計	63,339	62,907
経常利益	216,684	111,273
税金等調整前四半期純利益	216,684	111,273
法人税等	88,572	50,130
四半期純利益	128,111	61,142
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,624	13,666
親会社株主に帰属する四半期純利益	113,487	47,475

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	128,111	61,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,470	△10,919
その他の包括利益合計	△19,470	△10,919
四半期包括利益	108,641	50,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95,829	37,178
非支配株主に係る四半期包括利益	12,811	13,043

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	4,144,504	169,294	4,313,799	—	4,313,799	4,313,799
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,144,504	169,294	4,313,799	—	4,313,799	4,313,799
セグメント利益	183,684	66,241	249,926	—	249,926	249,926

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,916,886	170,732	4,087,618	—	4,087,618	4,087,618
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,916,886	170,732	4,087,618	—	4,087,618	4,087,618
セグメント利益	73,273	73,074	146,347	—	146,347	146,347

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。